



鹿折まちづくり協議会に参加しませんか？

鹿折まちづくり協議会（鹿折まち協）は、地区の皆さんの声をまちづくりに反映するために活動しています。

こんな活動を行っています：

- みんなの声を聞く：サロンや様々な住民会合を開催
- 行政につなぐ：行政側と定期的に打ち合せ
- 地区の復興事業に関する情報を収集・提供
- その他、鹿折のまちづくりに関する各種相談

事務所の営業時間：

事務局員が下記の時間帯に事務局に駐在しています。

★毎週 月・水・金、9:00～16:00

★事務所：鹿折復幸マートA棟2階

・気仙沼市新浜町1-3（路線バス：大沢線「新浜町」）



鹿折小PTA主催の親子防災復興教室

昨年11月21日（土）に鹿折小学校のPTAが主催した親子防災復興教室が行われ、気仙沼魚市場や鹿折の水産加工場を見学し、水産業と防災について学びました。この防災復興教室は、構成員会合で『賑わい』をテーマに話し合われた際に出された、～『海のサイクル』を学ぼう～というアイデアをモニターツアーとして具現化したものでもあります。これを契機に、鹿折地区の水産業を生かした企業研修が行われたり、観光コンテンツの一つになることで、鹿折地区の賑わいの一助になることができると思います。



鹿折の子育て環境と認定子ども園

鹿折の八幡神社の北側に建設予定の（仮称）鹿折認定子ども園や、鹿折の子育て環境について、これまで協議会では子育て座談会や認定こども園に関する勉強会等を開催したり、子連れのお母さんたちが気軽に訪れやすい事務所の雰囲気づくりをしてきました。12月3日に気仙沼市子ども家庭課による「（仮称）鹿折認定こども園及び鹿折児童館整備に関する説明会」の開催時に、これまで行ってきた話し合いの結果をまとめたものを【（仮称）鹿折認定こども園計画とその周辺状況に係る提言】として気仙沼市保健福祉部子ども家庭課長に提出しました。内容は、Ⅰ.子どもの豊かな身体と心の成長、Ⅱ.自然を活かす、Ⅲ.多様な子どもや大人の居場所づくり、Ⅳ.地域での子育てと防災、Ⅴ.子育て世帯に優しい機能・制度、と5項目に分類し、施設の整備面だけでなく、使い方やサービスについてなど幅広く住民意見を取り入れて作成いたしました。詳しい内容は、復幸マート内の鹿折まちづくり協議会事務局に来ていただけたら閲覧することができますのでお気軽にお越し下さい。



～最近の活動まとめ～

【構成員会合の話し合いの内容】

各行政区から選出された構成員で進める構成員会合。11、12月は『防災』のテーマのもと、以下のようなことが検討されました。

【避難道】西側からバイパスに繋がる避難道や西側の避難場所を検討してほしい。加えて、BRT専用道路を避難道として活用できるようにしてほしい。

【避難標識】津波の高さや怖さを意識付けするための津波到達ラインや、地域の主要な箇所には大きい地図を設置し、避難場所を示した方がいい。**【火災対策】**今後、自主防災組織が必要不可欠であり、各家庭でも防災意識を高めてもらうために消火器の設置、消火訓練の実施等を積極的に行っていく必要がある。**【交通事故対策】**道路を広くし過ぎると車がスピードを出しやすくなり、交通事故が多発する恐れがあるので、そういったことも十分に考慮して安全対策を講じることが必要。**【要介護者、独居老人等避難体制】**要介護者、独居老人を把握するリストが必要なのではないか。個人情報の保護には十分留意しながら、地域コミュニティの強化につながるような活動が必要。**【防災教育】**AEDを主要な箇所に設置し、操作や心臓マッサージの練習、講習を行うことが必要。



【中みなと町歩行者専用道路】

昨年11月15日、「中みなと町歩行者専用道路についての検討会」を開催しました。以前より検討を続けてきた歩行者専用道路計画について、まず、市都市計画課より現状の説明を受け、そのあと意見交換を行いました。「生活の利便性のためには車を通したほうがいい」との意見がある一方で、「安全な歩行と住居環境のためには歩行者専用道路でもいいのではないか」「換地が今さら変更となると困る」などの意見があり、結論が出ませんでした。現計画（歩行者専用道路）を変更するためには「地域の総意」が必要とされており、鹿折まち協としては「その総意は得られなかった」として会合のまとめを行い、市に対する現計画の変更の要望は行いませんでした。



【気仙沼市内のまちづくり団体連名での要望書提出】

昨年12月21日、鹿折まち協を含む市内9か所のまちづくり団体連名にて市長に要望書を提出しました。昨年2月から合計4回、気仙沼市まちづくり支援センターの声掛けで市内のまちづくり団体の交流会をもってきましたが、今回はそこで話し合った、共通する課題に対する要望を行いました。内容は：1.まちづくり協議会等に対する運営補助金の継続、2.まちづくり協議会等に対する専門家派遣制度の継続、3.総合的なまちづくりに向けた横断的な話し合いの場の設置、4.まちづくり協議会等に対する総合的なサポート体制の強化、5.まちづくりに関する住民意見反映のための早期の情報提示、の5点でした。

市長からは、概ね前向きな回答をいただきました。特に3.については、地区ごとに、その軸となる事業を中心として関係者の調整の場を持つようにしたいとのコメントがありました。今後も市内のまちづくり団体の横の連携を保ち、協力していくこととしています。

【まちづくりサロン】

住民一般を対象とした定例のまちづくりサロン。12月21日は「鹿折の将来像」について、賑わい、暮らし、防災の各テーマにそって、これまで構成員会合で検討してきたことをベースに話し合いました。例えば、「高齢者にやさしいまちづくり」の面では、「お年寄りの移動手段について考えるべき」といった意見があったり、買い物のテーマでは「水産加工会社から品物を直に安く買える直売所があったらいい」などと言った意見が出ました。今後、提案書としてまとめていく予定です。



鹿折地区の復興状況



*地図はイメージ図です

【県道】 鹿折を南北に縦断する県道「片浜鹿折線」の一部（北半分）が開通しています。



【鹿折認定子ども園】

八幡様の北側に位置します。現在設計中、H29年度中に完成の予定。

【防災集団移転団地（鹿折北）】

昨年11月6日に入居者説明会が行われました。2016年3月には52区画の引き渡しが行われる予定です。



【新かもめ商店街】

2016年中に再建予定の新かもめ商店街には、米屋・クリーニング店、食堂、写真館、お茶屋、魚屋、衣料品店などの業種がそろっています。歩行者道路を挟んで両サイドにお店が立ち並ぶイメージだそうです。駐車場や集会所も併設。

【鹿折災害公営住宅】

全7棟のうち、鹿折川寄りの3棟が最初に完成する予定ですが、一番進んでいる箇所です地上4階建てまで建設が進んでいます。今年8月には入居開始予定。本申し込みは既に終わり、3月には部屋割りの抽選会が行われる予定です。

【見学台】

鹿折見学台は、かさ上げ工事に伴い、1月25日から撤去されます。

【復幸マートの店加入】

鹿折復幸マート内に地域の集会所「サライ」と渡辺無線さんが引っ越してきました。

【ガソリンスタンド建設中】

(株) 気仙沼商會が新浜町の県道沿いにガソリンスタンドを建設中です。土地区画整理事業地内初となる民間事業。土地区画整理事業のインフラ工事が予定通りに進めば、今年4月にはオープンの予定だそうです。通常の給油スタンド、トラック等大型車専用の軽油スタンド、洗車機が配置される予定とのこと。

地区のまちづくりの検討の中で特に要望が多く、住民の日常生活に欠かせないガソリンスタンド。「地域のために一日も早くオープンにこぎつきたいと頑張ってきました。ダンプカーも利用できますので、復興にも少しでも貢献できれば」(気仙沼商會さん)。

【浜港線】

土地区画整理事業区域から水産加工施設等集積地まで鹿折を南北に貫く幅16mの浜港線。その整備が進んでいます。



【水産加工施設等集積地】

22社の工場立地が予定されている水産加工集積地。鹿折加工協同組合の組合員のうち11社がこの地区に工場建設を予定しています。現在、既に稼働しているのが、(株) ミヤカン、気仙沼ほてい(株)、(有) 高長商店、畠和水産(株)、(有) ヤマグンの5社。気仙沼鹿折加工協同組合の事務所、冷蔵倉庫も稼働しています。その他、(株) かわむら、(株) 加和喜フーズ、(株) ムラタの工場は3月頃から稼働する予定、平成28年中には11社が稼働する見込みとなっているとの事です。多くの工場が、厳格な品質管理の国際基準HACCPの取得を目指しており、鹿折の水産加工企業として特に高品質を売りにしていく方針です。

【浪板橋/河川堤防】

河川堤防の工事が進み、浪板橋(仮橋)の架け替えも完了し、昨年12月10日に開通しました。



今後の行事のお知らせ： ～ぜひお気軽にご参加ください～

- * 毎週火曜日・夜（2月9日、16日、23日）19:00～21:00：構成員会合 於 鹿折まち協事務所。地元の人たちが鹿折についてざっくばらんにおしゃべりしています。気軽に覗いてみてください。
- * 2月18日（木）10:00～11:30：出張！鹿折情報サロン 於 条南分館 *鹿折に戻られる方（特に災害公営住宅に入居予定の方）向けに、同公営住宅や鹿折のまちづくりについて情報提供、意見交換を行います。
- * 2月21日（日）13:30～15:30：鹿折まちづくりサロン 於 マート集会所

活動メンバー募集！

鹿折でいま何がどうなっているのか知りたいという方や、専門的なことは良く分からないけど地域のことをよくしたいという方。まずはサロンや構成員会合などの見学に来てみてください。



【気仙沼方言アラカルト】

- あかいん：どうぞお召し上がりください
- おごご：漬物
- ごっつおう：ご馳走
- すける：手伝う
- おぼこ：赤ん坊

鹿折まち協 構成員／評議員の小山憲一さんからのメッセージ

鹿折まち協に参加させて頂き、構成員会合では、いろんな人とふれあい意見交換が出来て楽しく活動しています。構成員会合とは、仕事柄、昼間にまちづくりに参加出来ないひとが、夜集まって自分の持っている意見を述べるので、20代から50代くらいの方が参加しています。テーマごとにこれからのまちづくりを考えて行く上で皆と意見を出し合い、どういったまちにしていくのかを話し合うところで、自分の意見が賛同されることもあれば、そうでないこともあり悲しくなる時もありますが、たのしく活動しています。また、テーマを超えて話合いが盛り上がることもあり、時間が過ぎるのがあっという間に感じます。参加するひとは、皆鹿折のことを熱い思いで良くしようと考えているので、私も微力ながらこれからも参加していきたいと思しますので、この記事を読んで参加してみたいと思う人は、是非気楽に参加して頂きたいです。

当まちづくり通信は、気仙沼市のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.kesenuma.lg.jp>

トップページ⇒ジャンル別メニュー「都市計画・まちづくり」⇒「まちづくり」から

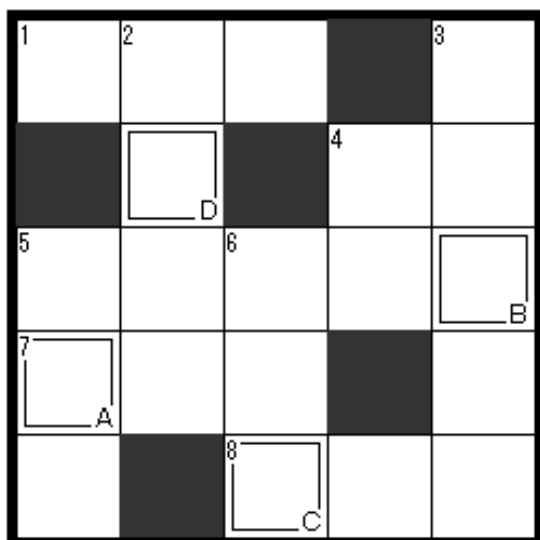
* Facebook で鹿折まち協の近況や鹿折の復興状況についてアップデートしています。「鹿折まちづくり協議会」で検索し「いいね」を！

* メール：shishiori14@gmail.com

* 電話：070-1248-6208



クロスワードパズル



タテ

【タテ 2】野球で、塁上の走者が守備側のすきをついて次の塁に進むこと。

【タテ 3】野菜をごく細かく切ること。

【タテ 4】おかあさん。

【タテ 5】人の視神経を刺激して明るさを感じさせるもの。電磁波の一種。

【タテ 6】一年で五番目の月。

ヨコ

【ヨコ 1】目上の人などに付き従っていくこと。または、その人。

【ヨコ 4】道徳に反したり、変なことをして人にわらわれたときに感じる恥ずかしさ。

【ヨコ 5】昼の食事。

【ヨコ 7】線や色彩を使って平面上に描き出したもの。絵。

【ヨコ 8】妊娠初期の女性にあらわれる食欲不振・吐き気・嘔吐・嗜好の変化などの症状。

A～Dの4文字で言葉を作ろう！『

』 ⇒回答は次号

前号の回答： 「インシヨウ」

4